

**製品名: TBPL2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18695**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	41kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TBPL2
別名	TBPL2; TBP2; TRF3; TATA box-binding protein-like protein 2; TBP-like protein 2; TATA box-binding protein-related factor 3; TBP-related factor 3
遺伝子 ID	387332.0
SwissProt ID	Q6SJ96
免疫原	抗血清はヒト TBPL2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

**背景**

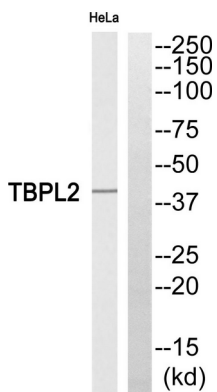
機能: 筋芽細胞から筋細胞への分化において、TAF3 との複合体形成に必要な転写因子。この複合体は、分化過程の初期段階で特定の

プロモーター領域にある TFIID を置換する。、類似性: TBP ファミリーに属する。、細胞内局在: 細胞分裂期に細胞質内に存在。、サブユニット: TAF3 と相互作用する。、組織特異性: 検査したすべての組織において普遍的に発現しており、心臓、肺、卵巣、脾臓、精巣で最も高い発現レベルを示す。、機能: 筋芽細胞から筋細胞への分化において、TAF3 との複合体形成に必要な転写因子。この複合体は、分化プロセスの初期段階で特定のプロモーターにおいて TFIID を置き換えます。、類似性:TBP ファミリーに属します。、細胞内位置:細胞質内に細胞分裂中に存在します。、サブユニット:TAF3 と相互作用します。、組織特異性:検査したすべての組織で普遍的に発現しており、心臓、肺、卵巣、脾臓、精巣で最も高いレベルで発現しています。、

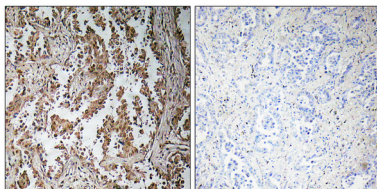
## 研究分野

基礎転写因子;ハンチントン病;

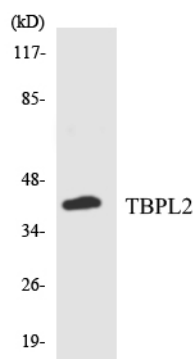
## 画像データ



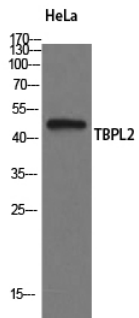
TBPL2 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは TBPL2 ペプチドでブロッキングされている。



TBPL2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。右レーンは TBPL2 ペプチドでブロッキングされている。



TBPL2 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



TBPL2 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析